

科目	授業科目	履修年次	単位数	必修◎/選択 必修○/選択 △	授業科目の 到達目標 (簡条書き)	DP1	DP2	DP3	DP4
						修学・進路計画能力	一般的基礎能力<知識・理解>	農学基礎能力<知識・理解>	課題解決・専門能力<思考・判断>
共通教育科目	基礎セミナー	1前	2	◎		◎			○
	情報リテラシー演習	1前	1	◎			○		
	情報セキュリティ・モラル	1前	1	◎			○		
	運動健康科学	1後	1	◎		◎	○		
	山口と世界	2後	1	◎		◎	○		
	知の広場	1後	1	◎		◎	○		
	キャリア教育	3前	1	◎		◎	○		
	英語	英語Iaまたは英語Ib	1前/後	2	○			○	
	英語IIaまたは英語IIb	1前/後	2	○			○		
	英語会話Iaまたは英語会話Ib	1前/後	2	○			○		
	英語会話IIaまたは英語会話IIb	1前/後	2	○			○		
	一般教養	哲学	1後	1	◎			◎	
	歴史学	1後	1	◎			◎		
	社会学	2後	1	◎			◎		
	経済と法1	2前	1	◎			◎		
	経済と法2	1前	1	◎			◎		
	経済と法3	1前	1	◎			◎		
	自然科学1	1前	1	◎			◎		
	人間の発達と育成1	2後	1	◎			◎		
	人間の発達と育成2	2後	1	◎			◎		
	文化の継承と創造1	2前	1	◎			◎		
	文化の継承と創造2	2前	1	◎			◎		
	社会と医療	1後	1	◎			◎		
	科学技術と社会	2前	1	◎			◎		
	環境と人間	2前	1	◎			◎		
	専門基礎科目	数学I	1前	2	○			◎	
	数学II	1後	2	○			◎	◎	
	物理学I	1前	2	○			◎	◎	
	物理学II	1後	2	○			◎	◎	
	化学I	1前	2	○			◎	◎	
	化学II	1後	2	○			◎	◎	
	生物学I	1後	2	○			◎	◎	
	生物学II	1後	2	○			◎	◎	
地球科学I	1前	2	○			◎	◎		
地球科学II	1後	2	○			◎	◎		
物理学実験A	1後	2	○			◎	○	◎	
化学実験A	1前	2	○			◎	○	◎	
生物学実験	1後	2	◎			◎	○	◎	
地球科学実験	1後	2	△			◎	○	◎	
数学概論	1前	2	○				◎		
ドイツ語入門1		2	△				◎		
フランス語入門1		2	△				◎		
中国語入門1		2	△				◎		
ハンブル入門1		2	△				◎		

生物機能科学科において何を学ぶかを理解し、そのための学習・教育プログラムを把握して自ら修学プランを立案できます。また、関連機関・産業界から求められる人材像を理解し、将来の進路を自ら決定すること

生物学や化学などの理科学科目に加えて人文・社会科学系科目を含む幅広い知識に基づき、地域社会や国際社会が抱える課題を理解しようとする姿勢を身に付けています。

基礎的知識に加えて生命科学、食品科学、環境科学に関する専門的知識を有し、生命機能の解明及び生物資源の有効利用を遂行するための専門的な技術を修得しています。

生物・食品・環境に関連する課題を発見した上で、解決に必要な情報を収集・分析し、バイオテクノロジー等の技法を駆使し、他者と連携・協調して課題解決に取り組むことができます。

科目	授業科目	履修年次	単位数	必修◎／選択 必修○／選択 △	授業科目の 到達目標 (簡条書き)	DP1	DP2	DP3	DP4
						修学・進路計画能力	一般的基礎能力<知識・理解>	農学基礎能力<知識・理解>	課題解決・専門能力<思考・判断>
					生物機能科学科において何を学ぶかを理解し、そのための学習・教育プログラムを把握して自ら修学プランを立案できます。また、関連機関・産業界から求められる人材像を理解し、将来の進路を自ら決定すること	生物学や化学などの理科学科目に加えて人文・社会科学系科目を含む幅広い知識に基づき、地域社会や国際社会が抱える課題を理解しようとする姿勢を身に付けています。	基礎的知識に加えて生命科学、食品科学、環境科学に関する専門的知識を有し、生命機能の解明及び生物資源の有効利用を遂行するための専門的な技術を修得しています。	生物・食品・環境に関連する課題を発見した上で、解決に必要な情報を収集・分析し、バイオテクノロジー等の技法を駆使し、他者と連携・協調して課題解決に取り組むことができます。	
	ドイツ語入門2		2	△			◎		
	フランス語入門2		2	△			◎		
	中国語入門2		2	△			◎		
	ハンデル入門2		2	△			◎		

科目	授業科目	履修年次	単位数	必修◎/選択 必修○/選択 △	授業科目の 到達目標 (簡条書き)	DP1	DP2	DP3	DP4
						修学・進路計画能力	一般的基礎能力<知識・理解>	農学基礎能力<知識・理解>	課題解決・専門能力<思考・判断>
	日本語		2	△			◎		
必修科目	特別演習	4前後	4	◎		○	○	◎	◎
	卒業論文	4後	6	◎		○	○	◎	◎
	生物機能科学総論I	1前	2	◎		◎	◎	◎	
	生物機能科学総論II	1後	2	◎		◎	◎	◎	
	生物機能科学基礎実験	2後	2	◎			◎	◎	◎
	専門英語I	2前	1	◎			◎	◎	
	専門英語II	3前	1	◎			◎	◎	
専門教育科目 選択科目	生物化学	2前	2	○			◎	◎	◎
	細胞生化学	3後	2	○			◎	◎	◎
	情報生化学	2後	2	○			◎	◎	○
	遺伝子工学	3前	2	○			◎	◎	○
	蛋白質工学	2後	2	○				◎	◎
	食品栄養機能化学	3後	2	○				◎	◎
	食糧化学	2前	2	○		◎	◎	◎	◎
	酵素化学	2後	2	○				◎	△
	微生物機能化学	3後	2	○			○	◎	○
	微生物学	3前	2	○				◎	○
	生物物理化学	2前	2	○			◎	◎	
	代謝生化学	2前	2	○				◎	○
	食品安全学	3前	2	○		○	◎	◎	○
	環境適応生理学	2後	2	○				◎	◎
	有機化学	2前	2	○		◎	◎	○	
	天然物有機化学	2後	2	○		◎	◎	◎	◎
	機器分析化学	3前	2	○		◎	○	◎	○
	生物有機化学	3後	2	○				◎	◎
	植物生化学	3前	2	○		◎	◎	○	
	土壌微生物学	3前	2	○		△	◎	◎	○
	環境微生物学	3後	2	○		△	○	◎	◎
	環境化学	2後	2	○				◎	◎
	生物統計学	2前	2	○					◎
	食品衛生学	3後	2	○				◎	◎
	水産物利用化学	3前	2	○				◎	◎
	情報処理概論	2前	2	○		△	◎	○	○
	分析化学	2前	2	○		△	◎	○	◎
	物理学概論	2前	2	○		△	◎	○	◎
	食品栄養学	2後	2	○				◎	◎
	生物海洋学	3前	2	○			○	◎	◎
	細胞生化学実験	3前	1	○			◎	◎	◎
	遺伝子工学実験	3前	1	○			◎	◎	○
	蛋白質化学実験	3前	1	○				○	◎
食糧化学実験	3前	1	○		◎	◎	◎	◎	
応用微生物学実験	3前	1	○				○	◎	
微生物学実験	3前	1	○				◎	◎	
生物物理化学実験	3前	1	○				◎	◎	
情報生物学実験	3前	1	○				◎	◎	
環境適応生理学実験	3前	1	○				◎	◎	
有機化学実験	3前	1	○		◎	○	◎	◎	
天然物有機化学実験	3前	1	○		◎	○	◎	○	
土壌生化学実験	3前	1	○		△	○	◎	◎	
生物有機化学実験	3前	1	○				○	◎	
植物分子生理学実験	3前	1	○				○	◎	
環境生化学実験	3前	1	○				◎	◎	
植物生化学実験	3前	1	○		△	△	◎	◎	
フィールド演習	全	1又は2	○				◎	○	
作物生産科学フィールド演習	全	2	○				◎	○	

科目	授業科目	履修年次	単位数	必修◎／選択 必修○／選択 △	授業科目の 到達目標 (簡条書き)	DP1	DP2	DP3	DP4
						修学・進路計画能力	一般的基礎能力<知識・理解>	農学基礎能力<知識・理解>	課題解決・専門能力<思考・判断>
					生物機能科学科において何を学ぶかを理解し、そのための学習・教育プログラムを把握して自ら修学プランを立案できます。また、関連機関・産業界から求められる人材像を理解し、将来の進路を自ら決定すること	生物学や化学などの理科学科目に加えて人文・社会科学系科目を含む幅広い知識に基づき、地域社会や国際社会が抱える課題を理解しようとする姿勢を身に付けています。	基礎的知識に加えて生命科学、食品科学、環境科学に関する専門的知識を有し、生命機能の解明及び生物資源の有効利用を遂行するための専門的な技術を修得しています。	生物・食品・環境に関連する課題を発見した上で、解決に必要な情報を収集・分析し、バイオテクノロジー等の技法を駆使し、他者と連携・協調して課題解決に取り組むことができます。	
	就業体験学習	2年または3年	1又は2	○		◎	○		◎
	海外農学体験学習	原則4年	1又は2	○		◎	○		◎

DP5	DP6
倫理観・自己開発<関心・意欲、態度>	表現能力<コミュニケーション・表現>
技術者・研究者に必要な倫理観を身に付けるとともに、能力を向上させようとする姿勢を有し、その実現のために継続的に学修できます。	日本語に加えて英語によるコミュニケーション能力を修得するとともに、研究発表や討論をするための基本的な能力を身に付けています。また、論理的思考のプロセス及び結果を説明するためのプレゼンテーション能力を修得しています。
○	◎
○	◎
○	◎
○	◎

DP5	DP6
倫理観・自己開発<関心・意欲、態度>	表現能力<コミュニケーション・表現>
技術者・研究者に必要な倫理観を身に付けるとともに、能力を向上させようとする姿勢を有し、その実現のために継続的に学修できます。	日本語に加えて英語によるコミュニケーション能力を修得するとともに、研究発表や討論をするための基本的な能力を身に付けています。また、論理的思考のプロセス及び結果を説明するためのプレゼンテーション能力を修得しています。
○	◎
◎	◎
◎	◎
	○
	◎
	◎
△	
○	
○	
△	△
○	△
◎	
◎	
○	△
△	△
△	△
○	
○	
○	
◎	○
△	○
○	○
	○
	○
	○
◎	○
○	◎
△	◎
◎	◎
◎	○
○	○
○	○
○	○

DP5	DP6
倫理観・自己開発<関心・意欲、態度>	表現能力<コミュニケーション・表現>
<p>技術者・研究者に必要な倫理観を身に付けるとともに、能力を向上させようとする姿勢を有し、その実現のために継続的に学修できます。</p>	<p>日本語に加えて英語によるコミュニケーション能力を修得するとともに、研究発表や討論をするための基本的な能力を身に付けています。また、論理的思考のプロセス及び結果を説明するためのプレゼンテーション能力を修得しています。</p>
◎	○
◎	○